

呉市上下水道局職員体制再構築計画の取組状況について

1 呉市上下水道局職員体制再構築計画について

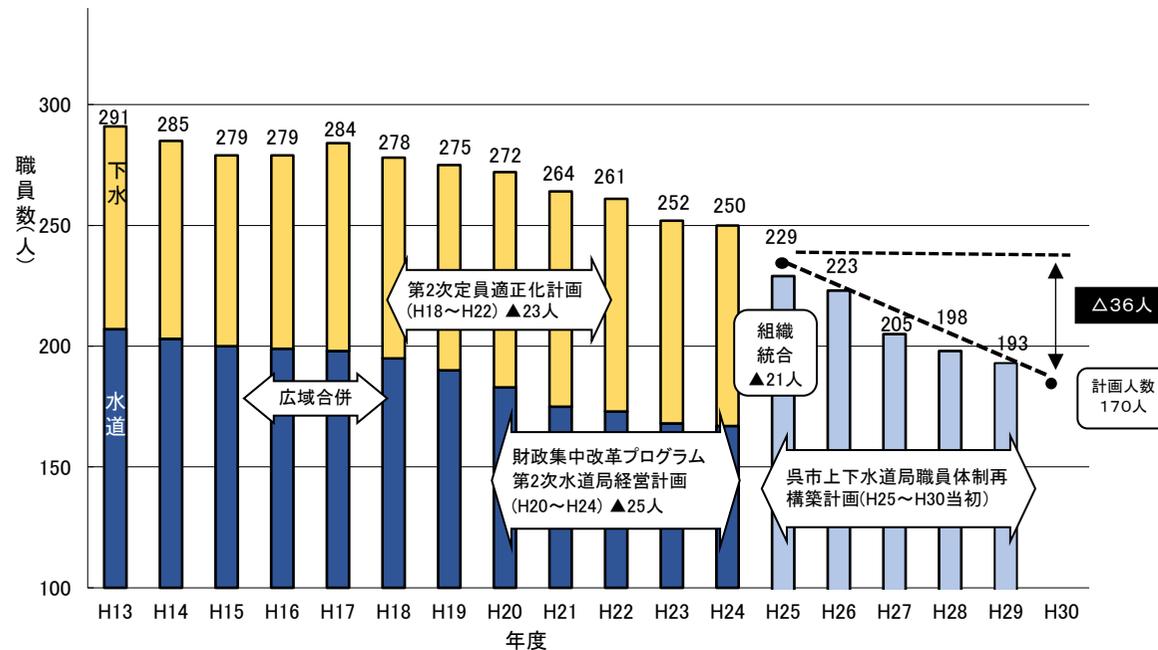
上下水道事業の組織統合後、上下水道局として職員体制の在り方や定員適正化の進め方を明確にするため、平成25年度から平成30年度当初までを計画期間として、呉市上下水道局職員体制再構築計画を策定し、三つの基本方針により取り組んでいます。

呉市上下水道局職員体制再構築計画

- 方針1：人材育成
- 方針2：民間活力導入の推進
- 方針3：定員適正化

2 上下水道局職員体制再構築計画の進捗

<図表1 職員数の推移>



職員数については、計画の進捗に伴い、平成29年度現在、正規職員ベースで36人の減員を達成しました。

なお、計画終了期間である平成30年度当初において職員数は、約190人程度と見込んでいます。

この理由としては、再任用職員が見込みより少なく、正規職員の減員につながらなかったこと等により、計画数を上回ることとなりました。

3 今後の課題

平成30年度からの10年間で、現在の職員数の約半数に当たる100人程度が定年を迎える中、これまで以上に、組織力の向上に努める必要があります。

(1) 人材育成（技術継承）

技術を継承すべき若年職員が相対的に少ないため、次世代を担う職員の計画的な確保が必要となっています。また、技術の継承を充実させるために、官民双方が有する技術継承につながる仕組みの導入を検討する必要があります。

(2) 再任用職員等の活用

平成26年度に導入した、新再任用制度については、年金制度と連動し、雇用期間を延長します。

今後、大量の定年退職者の発生と雇用期間の延長を受け、再任用職員は増加すると見込まれます。再任用職員の活用について検討する必要があります。

4 次期上下水道局職員体制再構築計画の策定

職員体制の在り方や、定員適正化の取組を引き続き実施するため、今年度中に、次期上下水道局職員体制再構築計画を策定する予定です。次期計画では、課題を考慮するとともに、上下水道事業の役割と使命を果たすため、更に、職員力、組織力を向上していけるよう計画の策定を進めていきます。

<図表2 年齢別職員数>

